

❖ **【お知らせ】**2005年秋・冬モデルおよびBCI-7シリーズがBCI-7e変更に伴い「インク残量検知機能を無効にする」設定を行わないと印刷が出来ません。詳しい内容につきましてはこちらを参照してください。2005.12.13更新



純正カートリッジをご購入の際には、必ず備え付けのキャップ(図1)を保管しておいて下さい。

1. 詰め替え手順

カートリッジのシールの貼ってある側を上にして置いて下さい。(図2参照)尚その際に、

カートリッジの下には、汚れてもいいような古新聞紙等を敷き平らな場所で作業を行って下さい。

注)シールは、内部の空気を調整していますので、絶対に剥がさないで下さい。



2. インク注入口を開ける

インクの注入口には、ボールのような栓で密封してあります。

(シールにPUSHと書いてある所の少し上の丸く透けている場所)(図3参照)にクイのような物をあて、金槌などで軽く(数回)たたいて栓を開けて下さい。(図4参照)

注)一度に強く叩くと破損する恐れがあります

3. インクの出口をふさぐ

インクの注入時に、インク出口からインクの漏れるおそれがありますので、購入時の

キャップをし、テープで止めて下さい。(図5)キャップが無い場合は、テープでしっかり止めて下さい。(図6)



4.インクを注入する

2で開けた穴にスポイトの先を差し込みインクを注入します。(図7)この時、インクボトルの先を完全には、注入口に差し込まず、空気の通る隙間を開けるとインクがスムーズに入ります。

5.注入口を密閉する

インクの注入が終わりましたら、【別売りゴム栓-B型】でふさいでください。

(図8)終わりましたらインク出口をふさいだテープを取って下さい。

【重要】

(図8)でしっかり封をしないとインク出口からポタポタインクがたれます。しかし、封をしっかりとんでもポタ落ちするカートリッジは中のスポンジが劣化している為です。

その場合は別のカートリッジに交換して下さい。

6. 2回目以降の詰め替えについて

2回目以降の詰め替えは、ゴム栓をはずし、3番目以降の手順で詰め替えを行って下さい。

【POINT】

詰め替え時カートリッジを斜めにし、注入するとスポンジに大量にインクが染込まず

うまく詰め替え出来ます。(図9)

Canon製PIXUS-BJFシリーズの詰め替え手順の1例-画像



1.インク注入口を開ける

インクの注入口には、ボールのような栓で密封してあります。

(シールにPUSHと書いてある所の少し上の丸く透けている場所)に別売り穴あけキットを使い、金槌などで軽く(数回)たたいて栓を開けて下さい。

2.インクの出口をふさぐ



インクの注入時に、インク出口からインクの漏れるおそれがありますので、テープでしっかり止めて下さい。

3.インクを注入する

1で開けた穴にスポイトの先を差し込みインクを注入します。

4.注入口を密閉する

インクの注入が終わりましたら、【別売りゴム栓-B型】で注入口をふさいでください。

この時空気穴をふさがないように注意して下さい。終わりましたらインク出口をふさいだテープを取って下さい。